


# しまねの土地改良だより

平成25年7月1日発行

 水土里ネット島根

## ■農業農村整備関係予算必要額の当初予算での確保などを求め要望活動を実施

島根県農業農村整備推進協議会（会長 長岡秀人出雲市長）と島根県土地改良事業団体連合会（同）は、6月18日、農業農村整備関係予算の必要額の当初予算での確保など7項目の要望事項の実現を求め、農林水産省や県選出国會議員に対し要望・提案活動を行いました。

当日は、長岡会長のほか、島根県から石井農村整備課長、県土連から田中専務理事と渡部常務理事が参加されました。

農林水産省では、加治屋義人農林水産副大臣、實重農村振興局長（安来市出身）、林田農村振興局次長をはじめ幹部職員の方々に要望・提案活動を行いました。長岡会長は、加治屋副大臣に対し「農業は島根の基幹産業であり、活力ある島根を実現するためには農業農村の振興が不可欠であり、農業農村の整備はこれまで以上に求められている。しかし、平成25年度実質予算は大幅に増額したが、4割以上は補正予算が占めている。長期にわたり農業農村整備関係予算の必要額を当初予算で確保することが不可欠であるので、このことをはじめとする7つの要望事項の実現に格別のご配慮をお願いする」と要望されました。これに対し加治屋副大臣は「農業農村整備関係予算の当初予算での確保をはじめ、要望事項全般にわたりできる限り対応したい」と応えられました。



加治屋副大臣へ要望書を渡す長岡会長（左から渡部常務、石井課長、長岡会長、加治屋副大臣、田中専務）

要望・提案事項は以下のとおりです。

### 【要望・提案事項】

- 1 農業農村整備関係予算の必要額の当初予算での確保
- 2 農業農村整備事業における農家負担軽減
- 3 地域資源の適切な保管理に資する「日本型直接支払い」制度の法制化
- 4 地すべり防止施設の点検に関する支援制度の創設
- 5 水土里情報システムの更なる活用のための支援制度の創設
- 6 中山間地域総合整備事業等における農地集積促進制度の創設
- 7 農業集落排水施設の最適整備構想策定に係る支援制度の拡充

・農業農村整備関係予算必要額の当初予算での確保を求め要望活動を実施	1
・浜美枝さんを招き、浜田で「ルーラル・ミーティング」	2
・中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	3
・山王寺「たんぼの学校」が開校	3
・土地改良施設維持管理適正化事業説明会	4
・今後の主な予定	4

## ■浜美枝さんを招き、浜田で「ルーラル・ミーティング」 ＝しまねの原風景「棚田」を未来へ＝

ふるさとの原風景である「棚田」について話し合う「ルーラル・ミーティングinしまね」が6月23日、浜田市旭町の旭センターで開催され、参加者が講演や事例発表、パネルディスカッションなどをおして、棚田の保全や次世代への継承策などについて研修を行いました。

この研修会は、県内19市町村で組織する島根県農業農村整備推進協議会（会長 長岡秀人出雲市長）が主催し、島根県と県土連（同）の共催で開催されたもので、県内から行政関係者や農地・水・環境保全活動組織など約250人が参加しました。

県内には、農林水産省が優れた棚田を選定した「日本の棚田百選」に7か所の棚田が選ばれており、その美しい景観を保つために、各地域では住民の自主的努力により様々な活動が行われています。このうち会場となった旭町の「都川の棚田」と三隅町の「室谷の棚田」は、その活動の努力が認められ「第8回美の里づくりコンクール（農村開発企画委員会主催）」において、都川が農林水産大臣賞を、室谷が美の里づくり審査会特別賞を受賞されました。



研修会は、石黒裕規島根県農林水産部長の挨拶で始まり、同コンクール受賞地区の活動報告や、棚田再発見と題しての話題提供、雲南市山王寺棚田での活動事例発表のほか、女優・農政ジャーナリストで同コンクールの審査員でもある浜美枝さんによる「美の里づくりコンクールからの視点～美しい暮らし～」と題しての講演があり、受賞地区の活動の素晴らしさや選定経過、また、「田や畑や山があつてこそ美しい生活ができることに気づき、自ら箱根に合掌造りの家を建て、今は農業問題や食の安全をライフワークとしている」ことなど、興味深い話を聞くことができました。

研修会最後にはパネルディスカッションがあり、太田信介全国農村振興技術連盟委員長の進行で、浜美枝さんや地元代表者など6名のパネリストが「棚田保全と次世代への継承」をテーマに活発な意見を交わしました。

太田委員長は「棚田が30年後、40年後にも棚田であり続けるためには、人と人、組織と組織のつながりをより多く、より太く、より永くすることが重要」と指摘。パネリストからは「地域を活性化するためには、そこに暮らす住民一人一人が、棚田や文化などの地域資源の素晴らしさに気づくことが大切。棚田の保全は大変であるがじっくり時間をかけて活力ある棚田地域を守っていきたい」などの意見がありました。



24日には、都川と室谷の棚田の現地視察が行われ、参加者はその景観の素晴らしさに感動し、また地元関係者の説明に熱心に聞き入っていました。

長い営みのなかで知恵と技術の蓄積により築かれた棚田の姿は、そこに暮らす人々の生活形態の変化とともに変わりつつありますが、参加者それぞれが棚田の意味やその棚田を守ることの意義について再確認できた有意義な研修会となりました。

## ■中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会

中国四国土地改良事業団体連合会協議会の総会が6月13日、山口県山口市で開催され、本会から田中専務理事と渡部常務理事が出席しました。

この協議会は、中国四国管内9県の県土連で組織するもので、毎年持ち回りで事務局を務め、今年は山口県土連がその当番県となっています。

総会は、山口県土連森田副会長の挨拶で始まり、國広中国四国農政局長、金重山口県農林水産部審議官の来賓挨拶、青山中国四国農政局設計課長から、管内の情勢報告や今年度の農業農村整備関係予算の概要などについての説明が行われた後、総会に移り、農業農村整備推進の要望、本年度の事業計画などの3議案について審議が行われ、いずれの議案も原案どおり可決承認されました。

この中の、農業農村整備推進の要望については、平成26年度農業農村整備事業の予算編成にあたり、次の8項目について、8月1・2日に農林水産省などに対し要望・提案活動を行うことが決定されました。

### 【要望・提案事項】

- 1 危険ため池の整備や防災・減災対策の推進と国庫負担の拡充
- 2 農地・水保全管理支払交付金の共同活動支援交付金および向上活動支援交付金の交付制度の改正
- 3 農業用水利施設を活用した小水力発電の導入を促進するため国の支援の充実と規制緩和
- 4 農業集落排水施設等の機能診断調査および最適整備構想策定に係る事業制度の拡充
- 5 農道整備事業の事業制度の復活
- 6 農村地域の多面的機能を保持する末端土地改良施設の保全管理に対する支援制度の創設
- 7 国策である食料自給率向上のための水田汎用化整備に係る採択要件の緩和と国庫負担の拡充
- 8 水土里情報の更新に係る事業制度の創設および地図情報の共有化の促進

## ■山王寺「たんぼの学校」が開校 ～1時間目は田植え～

6月2日、雲南市大東町の山王寺で毎年恒例となった「たんぼの学校・田植えコース」が開催されました。

「日本の棚田百選」に選定されたこの自然豊かな山王寺をいつまでも残しつつ、農業のあり方、自然の大切さなどを実際に体験し、自然と人との共生、理解を深めていただきたいとの思いではじまったこのたんぼの学校は、山王寺本郷棚田実行委員会（高島幹雄会長）が主催し、はや8年目を迎えました。

どんよりとした少し肌寒い天気の中、近隣の市町から家族づれや大学生、中には海外の方の姿もあり、約80人が参加しました。

当日までに地元の方の手によって代掻きまですませたたんぼは、田植え初体験のステージとなり、ばひき、古代米やコシヒカリの手植えで大人も子供も楽しい時間を過ごしました。

田植え後、サツマイモの苗植をし集会所へ……。地元の女性に準備していただいた“ふっくらご飯”、“たっぷり野菜汁”は、心地よい疲れを癒やしてくれました。

7月27日には、「棚田の自然調べコース」が開催される予定です。この機会に是非、棚田を散策してみたいかがでしょうか。



## ■ 土地改良施設維持管理適正化事業説明会

6月12日、島根県土地改良会館において平成25年度土地改良施設維持管理適正化事業新規加入地区及び実施地区説明会を開催しました。

県内の土地改良施設（用排水機場、樋門、頭首工等）は、年々老朽化が進み、近いうちに5割近くの施設が耐用年数を迎えるといわれ、壊れる前の整備補修が急務となっています。本事業は、このような施設に対して、計画的に整備補修（オーバーホール）を行うための事業です。



この事業は、一般的な補助事業とは異なり、頼母子講のようにまず事業に加入し、5年間均等に必要経費を積み立てる仕組みのため、毎年、事業に新たに加入される団体や今年度工事を実施する団体に対し説明会を開催しております。

今年度は、11団体から14名の出席があり、本事業の事業制度及び諸手続きについて説明を行いました。

また、島根県農村整備課用地管理グループから、農業水利施設保全合理化事業、農業基盤整備促進事業、県単農地有効利用支援整備事業等について説明がありました。

## ■ 今後の主な予定

- 7月 2日（火） 大田管内県土連事業説明会（大田市）
- 7月 9日（火） 松江管内県土連事業説明会（松江市）
- 7月11日（木） 浜田管内県土連事業説明会（浜田市）
- 7月22日（月） 隠岐管内県土連事業説明会（隠岐の島町）
- 7月23日（火） 雲南管内県土連事業説明会（雲南市）
- 7月27日（土） たんぼの学校「自然調べコース」（雲南市山王寺）
- 7月29日（月） 出雲管内県土連事業説明会（出雲市）
- 8月 5日（月） 益田管内県土連事業説明会（津和野町）
- 8月 8日（木） 県央管内県土連事業説明会（川本町）

みどり  
「水」「土」「里」  
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水  
「土」・・・土地や農地  
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)